

リノベーション賃貸ブランド「REISM」がお届けする
TOKYO 人の大人教養バラエティ「TOKYO REISM NIGHT」 vol.5 開催！
「東京 + 地方」
-多拠点居住から考える未来の暮らし方-

開催日時：2018年5月25日(金) 19時～21時30分

開催場所：REISM STAND（東京都渋谷区鶯谷町6-6 グリーンハイツ鶯谷2F）

講師：佐々木俊尚（作家・ジャーナリスト）

リノベーション賃貸ブランド「REISM（リズム）」を運営するリズム株式会社（渋谷区、代表取締役社長 齋藤信勝、以下 REISM）は、東京での暮らしがワクワク・豊かになるコミュニティスクール「TOKYO REISM NIGHT vol.5」を、5月25日（金）19時より、REISM が運営する「REISM STAND」にて開催しました。

第5回目の開催となる「TOKYO REISM NIGHT」のテーマは、「東京 + 地方 -多拠点居住から考える未来の暮らし方-」。当日は、現在も福井・軽井沢・東京の3拠点で暮らし、ジャーナリストとして多方面で活躍されている佐々木俊尚氏を講師としてお招きし、多拠点生活の真実や未来の暮らし、そして、多拠点居住におけるコミュニティ形成について、佐々木さんならではの視点で語っていただきました。

多拠点居住を考えるきっかけになったのは、東日本大震災

福井・軽井沢・東京の3拠点で現在暮らしている佐々木さんが、多拠点居住を考えるきっかけになったのは、2011年3月11日に発生した「東日本大震災」。当時東京を拠点にしていた佐々木さんは、一つの拠点で生活することに不安を抱き、福井、そして軽井沢へと居住地点を広げていきました。

昨今、自動運転化技術やクラウドサービスの発展、IoT（Internet of Thing）の加速化によって、どこにいても仕事ができる環境が整備されていることから、多拠点居住のハードルは日々下がっていると佐々木さんは説明。一方で、多拠点居住を始める際のインシャルコストの高さがあることを指摘していました。

参加者から、多拠点居住先を検討する際のポイントについて聞かれると、「LCC（ローコストキャリア）が就航しているエリアを意識することが大切です。多拠点居住は、どうしても移動コストが発生するため、出来る限り移動コストを削減することが重要です。」と回答。「LCC 就航先」という回答に、参加者からは「なるほど！」「移動コストかぁ～」と感嘆の声が上がっていました。

また、多拠点居住の初級編として「週末多拠点生活」を紹介。誰も知らないエリアは基本的にはオススメしないと伝えた上で、「インターネットで気軽にアクセスできる時代だからこそ、ネット検索して情報発信を行っている人を見つけることです。その人は、そのエリアの“ハブとなる人”になりますので、そのような人と繋がることによって、居住先を決めていくこともできるのです。」と、多拠点居住を行っていない参加者の目は、どんどん佐々木さんの言葉に惹かれていく様子でした。



多拠点居住におけるコミュニティは、“360度ではなく、点で付き合う”

実際に3拠点に居住している佐々木さんへ参加者から、居住先でのコミュニティとの付き合い方について質問が及ぶと、「360度ではなく、点で付き合うことが大切です。点で付き合うとは、“ゆるく”付き合うと置き換えることができますが、重要なのは、ヒエラルキー（力関係）を自分の中で作らないことです。ヒエラルキーが形成されてしまうと、町内会への参加強制やコミュニティにおける人間関係に気を取られてしまいます。」と、多拠点居住を続ける佐々木さんならではの持論を展開。また、一つの所属グループに属するのではなく、出来るだけ自分をフリーハンドの状態であるコミュニティに複数所属することが重要であると、付け加えました。

10年後の暮らしには、仕事移動型のワークスタイル規模は100万人単位へ

クラウドサービスの発展によって、ワークスタイルに変化が起きている現代社会。佐々木さんは、テクノロジーの発展によって、ワークスタイルはもちろんのこと、ライフスタイルも劇的に変化していくと説明。一時期メディアを中心に注目された「ミニマリスト」の誕生も、ライフスタイルが変化している証であるとし、「家の中で生活を完結していないスタイル。街全体で生活を成立させている感覚を感じます。東京という街には、荻窪や蔵前、清澄白河など“街で暮らす”という感覚が多く点在していますよね。」と、昨今のライフスタイルが変化している様子を語りました。



10年後の暮らしについて聞かれた佐々木さんは、「これまで以上に仕事しながら移動する人が増えるのではないかと思います。その規模は、10万人単位、100万人単位のマーケット規模が生まれると考えています。新たになに生まれたマーケットへのサービスも今後続々と生まれてくるのではないかと考えています。」と、未来の暮らし方について語っていただきました。

さらに、講義後には、「家めしこそ、最高のごちそうである」などの料理本を多数執筆されているほどの料理好きである佐々木俊尚さんにちなみ、「美味しい家めし」をテーマとしたオリジナル料理が振る舞われました。佐々木さん著書「家めしこそ、最高のごちそうである」にて紹介されている「里芋のコロッケ」や「豚ロース肉の塩麹漬けグリル ゆず胡椒添え」などがテーブルを彩りました。「里芋コロッケ」は、塩のみで下味をつけた里芋本来の味わいを感じることができる味わいで、参加者からは「自宅で作れそう!」といった声が上がりました。佐々木さんも懇親会に加わり、食事とともにこれからの暮らし方について会場全体で意見交換が行われました。

TOKYO REISM NIGHT vol.6 開催決定! テーマは、「ソーシャルヒッピー仕事術」

第6回目の開催となる「TOKYO REISM NIGHT」のテーマは、「ソーシャルヒッピー仕事術 -自分らしい仕事に出会う-」。ヒッピーとして世界を旅し、東京で複数の事業をこなす“渋谷区在住ソーシャルヒッピー”鯉谷ヨシヒロさんをお招きし、自由の先にある「自分らしい仕事」について語っていただきます。自分らしい働き方を模索している方へ必見の内容を予定しています。



◆TOKYO REISM NIGHT vol.5 開催概要

日 時 : 2018年5月25日(金)19時00分~21時30分
場 所 : REISM STAND (東京都渋谷区鶯谷町 6-6 グリーンハイツ鶯谷 2F)
金 額 : 5,000円 (コース料理、フリードリンク付き)
テ - マ : 東京+地方 -多拠点居住から考える未来の暮らし方-

プログラム:

<講義>

- ・東京の魅力、地方の魅力
- ・多拠点生活の始めかた
- ・テクノロジーと暮らし
- ・10年後の暮らしを考える

<懇親会>

- ・お食事とお酒を楽しみながらのフリートーク



◆TOKYO REISM NIGHT vol.5 講師プロフィール

佐々木 俊尚 (ささき としなお)

1961年兵庫県生まれ。テクノロジーから政治、経済、社会、ライフスタイルにいたるまで幅広く取材・執筆している。「そして、暮らしは共同体になる。」「キュレーションの時代」など著書多数。電通総研フェロー。東京・長野・福井の三拠点移動生活中。



◆TOKYO REISM NIGHT について

TOKYO REISM NIGHT は、東京でのくらしがワクワク豊かになるコミュニティスクールです。2017年9月に渋谷区鶯谷町にオープンした REISM STAND でおいしい料理やお酒を楽しみながら、新しい教養や最新のライフスタイル情報の発信&体験をお届けします。地元愛回帰が注目されているこの時代だからこそ、「東京の今」に注目し、東京に住む人に対して自分らしい東京生活を、REISM の価値・価値観を通して実現してもらえたらという思いで企画をスタートします。毎月変わる、食・お金・住まい・生き方・趣味・働き方のテーマについて、自分らしいライフスタイルを実現している人のトークセッションを始め、新しい教養に触れる楽しさを提供。そこに集まる人にとっての知的情報のベース(基地)としての役割を果たすようなコミュニティを目指します。



◆リズム株式会社について

会社名 : リズム株式会社 (代表取締役社長: 齋藤 信勝)
資本金 : 1億円
所在地 : 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 13-3
事業内容 : 国内外の不動産の売買、賃貸、管理及びその仲介並びに保有、運用
U R L : <http://www.re-ism.jp/>

2005年設立当時より手掛ける“中古不動産リノベーションを強みに、「住む人(入居者)」「持つ人(投資家)」に対して、“LIFE PLAN”(豊かに暮らす)と“LIFE STYLE”(楽しく暮らす)の両軸から人生が豊かになるようなサービスを、不動産の枠を越えて提供します。当社が運営するリノベーション賃貸ブランド「REISM」では、コンセプトに基づいたデザインと素材にこだわった住環境だけでなく、ファッションやアート、インテリアを日々の生活に取り入れることで、自分なりのこだわりをインストールした自分らしい東京ライフを形づくることを提案しています。2018年5月現在、東京23区でテーマの異なる30個のリノベーションシリーズを展開し、手掛けた空間は494戸突破しております。